



理念体系

BASIC PHILOSOPHY

基本理念

私たちは

お客様の豊かで健康的な食生活に貢献します
地域の発展と繁栄を願い、地域に深く根ざした企業となります
常に革新と挑戦を続け、時代に適応する企業であり続けます

VISION

ビジョン

私たちは

- 多様なライフスタイルに最適な商品やサービスを提供し、お客様の豊かで健康的な食生活の実現に貢献します
- 従業員の能力の育成・活用や人財の交流を進め、全従業員が自らの成長を実感できる企業風土を目指します
- 参画事業会社の企業価値を最大化し、永続的に発展(成長)し続けます
- お客様のためにビジネスパートナー(お取引先さま)と公正な取引を通して新たな価値を創造します
- 各地域のニーズに応える個社それぞれの経営を尊重し、公正で透明性の高いガバナンスを通して、志を同じくする新たな参画企業を歓迎します

MISSION

ミッション

私たちは

- 参画する事業会社の自主自律経営を尊重するとともに、事業会社の枠を超えて総力を結集し、新たな価値を創造します
- お客様の信頼と期待に応え、規模と質の向上を追求し続けることで、企業価値の最大化を実現します
- 新たに参画する企業を歓迎し、オープンな連合体であり続けることを約束します



Contents Integrated Report 2024

イントロダクション

理念体系……………01
目次・編集方針……………02
At a Glance……………03
価値創造の軌跡……………04

U.S.M.Hの価値創造ストーリー

会長メッセージ……………05
社長メッセージ……………09
価値創造モデル……………11
価値創造の源泉……………12

価値創造戦略

第3次中期経営計画の振り返りと未来像……………13
第4次中期経営計画 全体像(2025年度～2027年度)……………14
第4次中期経営計画 グループシナジー創出戦略……………15
財務戦略……………16

価値創造ストーリーの実行戦略

マルエツ……………17
カスミ……………19
マックスバリュ関東……………21
いなげや……………23
インフラ戦略
商品戦略……………25
物流戦略……………26
デジタル戦略……………27

サステナビリティ戦略

サステナビリティ基本方針(2023年4月制定)……………28
マテリアリティ……………29
環境
環境マネジメント/持続可能な未来に向けた気候変動への
戦略的対応と価値創造の指針……………30
TCFDの枠組みに沿った当社の気候変動リスク・機会、
インパクト評価と目標……………31
サーキュラーエコノミー……………32

社会

多様な人財の活躍と働きがいの追求……………33
食の安全への対応/責任あるマーケティングとラベリング……………37
持続可能な食のバリューチェーン……………38
食やサービスを通じた豊かで健やかな暮らしの創造……………39

ガバナンス

企業統治の強化
コーポレート・ガバナンス……………41
実効性評価……………42
役員の指名・報酬……………43
グループガバナンス/コンプライアンス……………44
独立社外取締役座談会……………45
役員一覧……………47
リスクマネジメント……………49

データ

10カ年ハイライト……………50
非財務データ集……………51
会社情報・株式情報……………54

編集方針

「統合報告書2024」は、国際統合報告評議会(IIRC、現IFRS財団)が推奨する国際統合報告フレームワークの「価値創造プロセス」や、経済産業省の「サステナブルな企業価値創造に向けた対話の実質化検討会」で示された「企業と社会、両方の持続可能性の追求」を参照しつつ、中長期的な企業価値の最大化と永続的な発展を実現していくことを掲げたサステナビリティ基本方針を体系的にまとめたコミュニケーションツールとして作成しています。
株主や投資家、さらには従業員を含む地域の生活者などの幅広い読者の皆さまに、当社グループについてご理解を深めていただけるよう、今後も内容の一層の充実に努めていきます。

報告対象期間

2024年3月1日～2025年2月28日
※一部対象期間外の情報も掲載しています。

報告対象範囲

ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(以下、当社またはU.S.M.Hという)および事業子会社(以下、総称して当社グループまたはU.S.M.Hグループという)および事業子会社
※本冊子中の記載金額は表示単位未満を切り捨て、また、記載比率は表示桁未満を四捨五入して、それぞれ表示しています。

将来見通しに関する注意事項

本冊子に記載されている現在の計画、予測、戦略などには、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来見通しが含まれています。将来の実際の業績は、さまざまな要素により、見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。業績に影響を及ぼすリスクや不確定要素の中には、当社の事業環境を取り巻く経済情勢、市場競争、為替レート、税金、またはその他の制度などが含まれます。

At a Glance

U.S.M.Hグループでは、事業会社4社の経営ノウハウを進化・結集して新たな価値を創造・提供します。

U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

2015年3月、首都圏に展開するマルエツ、カスミ、マックスバリュ関東、3社の共同持株会社として誕生したユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(U.S.M.Holdings)。2024年11月には、志を同じくするスーパーマーケット「いなげや」を迎え、新生U.S.M.Holdingsとして新たな一歩を踏み出すことになりました。もっと、お客さまの豊かで健康的な食生活に貢献するために、もっと、地域に深く根ざした企業となるために、もっと、時代に適応する力を備えた企業であるために、私たちは挑戦し続けます。



1945年創業。生鮮食品を中心とした「マルエツ」、都市型スーパーマーケット「マルエツプチ」、ハイクオリティな品揃えとサービスを揃えた「リンコス」を首都圏1都5県に展開。



KASUMI

1961年創業。「人」「食」「生活」「文化」が商品・サービスを通じて交じり合う新フォーマット「BLANDE(ブランデ)」、食の専門店「フードスクエア」、生鮮食品を中心とした「フードマーケット」、価格訴求型の「FOOD OFFストックカー」を首都圏1都5県に展開。



マックスバリュ関東株式会社

2009年創業。日々の食生活に最大限のバリュを提供する「マックスバリュ」、安さ・発見・毎日来たいをコンセプトとした「マックスバリュエクスプレス」を1都3県に展開。



いなげや

1900年創業。生鮮食品と惣菜を中心とした豊富な品揃えの「いなげや」、毎日楽しく便利にお買い物ができる小型店の「ina21」、食の楽しさ・豊かさをより体感できる駅前商業施設内の「ブルーミングブルーミー」を1都3県に展開。



2024年度(2025年2月期)の実績(U.S.M.H連結)

売上高 8,112 億円	営業利益 59 億円	当期純利益 8.1 億円
投資総額 381 億円	GHG削減量(CO ₂ 換算) 当社基準年2013年度比 約 26.7 万トン	従業員男女比率 男性 32.3% 女性 67.7%

※いなげや2024年10月~2025年2月の実績を含む

従業員数

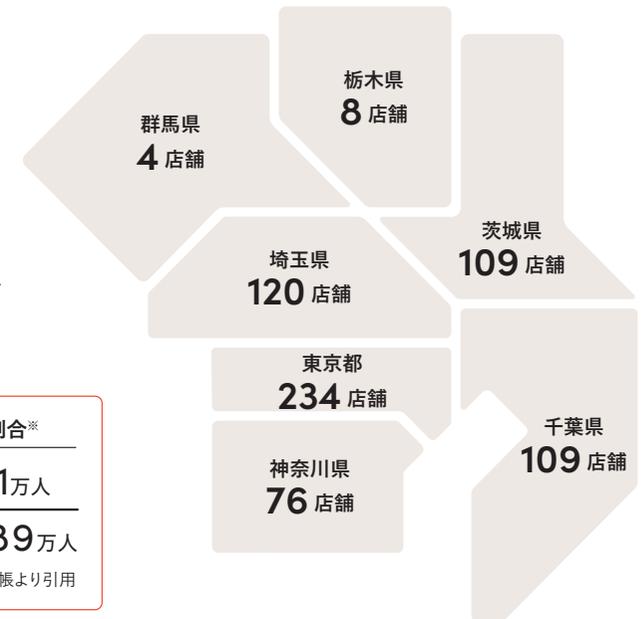
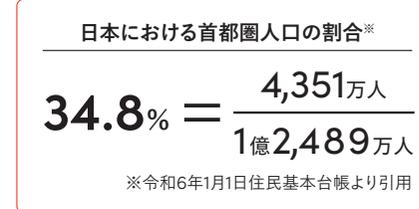
グループ合計 35,510 人			
マルエツ 15,926 人	カスミ 10,346 人	マックスバリュ関東 1,769 人	いなげや 7,322 人

※従業員は2025年2月末人員数で計算 ※パートタイマー(パート・アルバイト)は8時間換算・期中平均人員で計算
※グループ合計はホールディングスの従業員を含む

店舗ネットワーク

■ マルエツ	306
■ カスミ	196
■ マックスバリュ関東	30
■ いなげや	128
グループ合計	660 店舗

※2025年2月28日現在



U.S.M.Hグループが営業基盤とする首都圏市場は国内でも人口が多い地域にあり、このような市場の中、U.S.M.Hグループは**660店舗**以上を展開しています。

価値創造の軌跡

当社は2015年にマルエツ、カスミ、マックスバリュ関東が経営統合して誕生しました。2024年11月30日に新たにいなげやが加わり、新生U.S.M.Hとして4社体制となりました。事業会社4社のこれまで生み出してきた価値をさらに進化させ、首都圏で売上高1兆円規模のスケールメリットを活かしつつ新たな価値を創造してまいります。

外部環境 時代背景	① 戦後のチェーンストア発展・拡大期 輸入品拡大、車社会、オイルショック、小売業セルフサービス方式、大店法、大店立地法	② U.S.M.H統合以前 市街地空洞化、郊外への出店、アウトバウンド、インバウンド	③ U.S.M.H統合後 地政学的リスク拡大、コロナ禍による内食需要、デリバリー需要増、働き方の変化、物流2024年問題	④ 将来(2030年以降) 気候変動による災害増、脱炭素への対応、インフレの継続、エネルギー価格の高騰
--------------	--	---	---	--

1900

2015

2024



1945年
創業

1986年
POSシステム導入

2007年
イオン、丸紅と業務提携

KASUMI



1961年
創業

2000年
フードスクエア
1号店オープン

2003年
イオンと業務
資本提携

2013年
移動スーパー
サービス開始



マックスバリュ関東株式会社



2009年
設立

3社による首都圏におけるスーパーマーケット
連合U.S.M.H発足

2024年
マルエツ草加デリカセンター
稼働

2022年
カスミ新業態BLANDEオープン

2020年
マックスバリュ関東
買い物体験型店舗
おゆみ野店オープン



1900年
創業

1975年
生鮮食品用
コールドボックスの
開発

2004年
イオンと
業務提携

2005年
PB「食卓応援」
販売開始

2010年
企業の森
「すこやけくの森」
開設



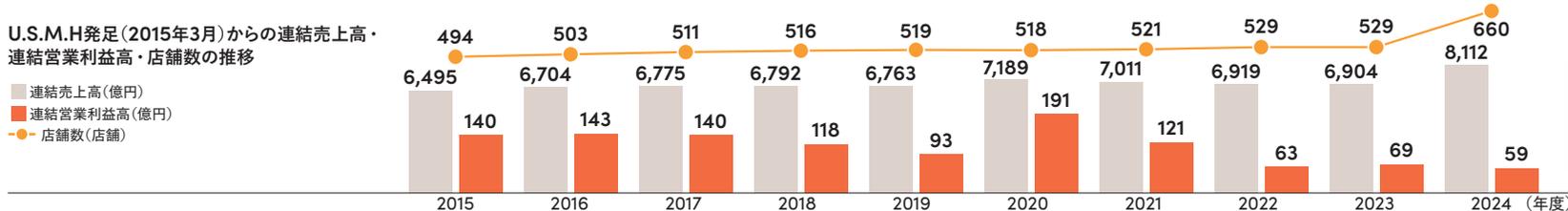
2021年
健康経営
宣言



い
な
げ
や
が
加
わ
り
新
生
U
・
S
・
M
・
H
誕
生
!

豊かで健康的な食生活を通じて地域の発展と
繁栄を実現する(ウェルビーイングの実現)

U.S.M.H発足(2015年3月)からの連結売上高・
連結営業利益高・店舗数の推移



4社によるスケールメリットを
活かした新たな価値の創造